小野田商工会議所会報
The Onoda Chamber of Commerce & Industry News

商工おのだ

2026 10
NO. 880



▸ 願いが叶う街プロジェクト2026 集合写真

TOPICS

願いが叶う街プロジェクト2026
▸ ゲーム制作会社「CAPCOM」による出前授業

木曜！ラジオde回覧板 / ８月放送回
▸ 出演：合同会社セメント 代表 小林大祐 さん

厚狭駅に山陽新幹線「さくら」が停車します！
▸ 山口デスティネーションキャンペーン事業



青年部 未来創造委員会による主催者挨拶

■令和８年１０月の予定表

１ 木	創業相談会・税務（13時30分~16時30分）
２ 金	
３ 土	
４ 日	
５ 月	IT・DXなんでも相談会！！（13時30分~16時30分） さんようおのだ起業塾－応用編１日目（18時~20時）
６ 火	
７ 水	
８ 木	
９ 金	
１０ 土	
１１ 日	
１２ 月	［スポーツの日］
１３ 火	労務相談会（13時30分~16時30分）
１４ 水	
１５ 木	創業相談会・法律（14時~） ♬木曜！ラジオde回覧板（18時15分~18時55分）
１６ 金	
１７ 土	
１８ 日	
１９ 月	
２０ 火	創業相談会・税務（13時30分~16時30分）
２１ 水	創業相談会・経営（9時~17時） さんようおのだ起業塾－応用編２日目（18時~20時）
２２ 木	
２３ 金	
２４ 土	
２５ 日	
２６ 月	記帳・税務相談会（13時~16時）
２７ 火	
２８ 水	DX推進委員会（13時30分~）
２９ 木	創業相談会・経営（13時30分~16時30分）
３０ 金	
３１ 土	

※各種個別相談会は、原則予約制となります。ご予約は、当所窓口までご連絡ください。小野田商工会議所（☎ 0836-84-4111）

今月の表紙



願いが叶う街プロジェクト2026

８月２８日（金）Aスクエアにて、小野田商工会議所青年部による「願いが叶う街プロジェクト2026」が開催された。

本事業は、地元小学生の将来の夢を応援する事業として毎年開催するもので、今回は子ども達にとって最も身近なコンテンツである「ゲーム」をテーマに企画！バイオハザードやストリートファイター、モンスターハンターなど数々の大ヒット作を世に生み出している、株式会社カプコン（CAPCOM）の仕事内容について学びました。





山口県最低賃金が改正されます

～必ずチェック！最低賃金！～

時間額 1,101 円

【 引上げ額 ５８円 】

【発効日】 令和８年１０月８日

山口県最低賃金が改正されます。
令和８年１０月８日から時間額 1,101円（引上げ額58円）が適用となります。
パート・アルバイト等を含めすべての労働者に最低賃金以上の賃金を支払わなければなりません。

詳しい内容については、
山口労働局労働基準部賃金室
TEL ０８３－９９５－０３７２ 又は、
最寄りの労働基準監督署にお尋ね下さい。

小学生が大手ゲーム会社と交流！「願いが叶う街プロジェクト」を開催！

８月２８日（金）Aスクエアにて、小野田商工会議所青年部による「願いが叶う街プロジェクト2026」が開催されました。

本事業は2012年から始まり、ボートレーサーやパティシエ、シンガーソングライターなど、子ども達がなりたい将来の夢を応援しようと毎年企画するもので、今回は子ども達にとって最も身近なコンテンツである「ゲーム」をテーマに、制作会社の仕事内容について学びました。

講師には、バイオハザードやストリートファイター、モンスターハンターなど数々の大ヒット作を世に生み出し、大阪に本社を置く株式会社カプコン（CAPCOM）のご担当者を招いて出前授業を行いました。

授業では、一つのゲームが完成するまでに様々な職種が関っていることを解説。「ゲームプランナー」、「サウンドクリエイター」、「デザイナー」、「プログラマー」といったクリエイターのほか、「プロモーション（広告・宣伝）」として活躍する人を映像で紹介しました。



また、業務内容だけでなく、仕事のやりがいや楽しさ、難しさについてもお話があり、子ども達は熱心に耳を傾けていました。

事後アンケートでは、「漠然とゲームを作ってみたいと思っていたけど、自分の夢が具体的に見る事が出来てとても良かった」、「色んな人の想いが一つの作品になっていることを知れて面白かった」などの意見がありました。

当日の様子は、日テレNEWS NNNやTVerなどで視聴可能です。今後も市内小学生が夢や希望をもって成長できるよう企画していきます。

優良社員表彰を募集しています

本年度も当所会員事業所優良従業員表彰を執り行う事となりました。

該当する従業員の事業所推薦につきましては、**１０月３０日（金）までに**当所に推薦書と負担金をそえて、当所総務課にご提出ください。推薦書は当所ホームページよりダウンロードできます。 ⇒ https://onoda-cci.or.jp/membership-service/members.html

◆優良従業員表彰　表彰種別

(1) 永年勤続表彰 (推薦人数の制限はありません)
同一事業所に１０年以上勤続し、その成績が優秀で他の模範となる者。
① 勤続年数 １０年以上にわたる者
② 勤続年数 ３０年以上にわたる者(日本商工会議所会頭との連名表彰)

(2) 特別表彰 (１事業所　若干名)
勤続年数にかかわらず、当該事業所の発展に寄与した功績が顕著であって他の模範となる者。
業務上の技術・技能が卓越しており業績向上に貢献した者、国家資格などを取得し功績顕著な者、豊かな知識を有し創意・工夫・改善等を行った者などを対象とする。

（推薦書ダウンロードページ）

◆表彰負担金

- 永年勤続表彰１０年以上・・・表彰者一人当たり３,０００円（10%対象3,000円、消費税272円）
- 永年勤続表彰３０年以上・・・表彰者一人当たり５,０００円（10%対象5,000円、消費税454円）
- 特別表彰・・・・・・・・・・表彰者一人当たり３,０００円（10%対象3,000円、消費税272円）

◆表彰式

令和８年度会員大会で表彰します。(毎年２月頃)

◆お申込み・お問合せ先
小野田商工会議所　総務課まで
☎：84-4111／✉：host@onoda-cci.or.jp

木曜！ラジオde回覧板

・FMスマイルウェーブにて放送中！
・毎月第3木曜 18時15分～18時55分



「ポーン！」の音で始まる～人と街を繋ぐ新しい福祉のカタチ～
合同会社 セメント　代表　小林 大祐 さんにインタビュー

８月２０日放送の「木曜！ラジオde回覧板」は、地元のポン菓子屋「ほりうち商店」の事業を今年５月からの準備期間を経て、７月に引き継がれた、合同会社セメント 代表 小林 大祐さんにご出演いただきました。今回の放送では、『ポン菓子の製造を通じて、地域福祉を豊かにしたい！』という小林さんの事業に対する想いと、小林さんが考える“ 新しい福祉のカタチ ”についてお聞きしました♪

● 直感と熱意が動かした未来：SNSメッセージから始まった小林さんの挑戦

山陽小野田市で生まれ育った私は、地元の小野田高校を卒業後、ITの専門知識を学ぶために神戸大学 情報知能工学科に進学しました。大学では、「ITテクノロジーを人間社会にどう活かすか」をテーマに研究を続ける中で、次第に人との関わり方が重要視される「福祉」の分野にも興味を持ち始めました。在学中には、京都大学大学院情報学研究科「共生システム論」研究室が掲げる「人と物、そして自然との共生」をテーマとした活動に魅力を感じ、同大学院への進学を決めました。そこでの恩師の先生との出会いや、福祉施設と共同で進めた**“インクルーシブデザイン（多様な人々と共に考え、より多くの人にとって使いやすいものやサービスを作るデザイン手法）”の研究**で得た経験が、私を福祉の道に導く大きなきっかけとなりました。

卒業後は、奈良県の障害福祉施設に就職し、アートやデザイン、テクノロジーといった様々な要素を福祉と掛け合わせる活動に取り組んできました。ケアの現場で実践を重ねるなかで、自分なりの福祉のあり方をカタチにしてみたいと考えていたところ、SNSで「ほりうち商店」の閉店と事業引継ぎ先の募集投稿を偶然目にし、直感的に「これは継承するしかない！」と地元へUターンすることを決意しました。私が考える福祉への想いやポン菓子が持つ可能性を何かに突き動かされるようにメッセージに綴り、DMを送ったことが現在の挑戦へと繋がっています。

● ポン菓子が拓く新しい福祉のカタチと、社名の「セメント」に込めた想い

～ ポン菓子が繋ぐ、これからの福祉 ～

私にとって福祉とは、**特別なことではなく「誰かを気遣うこと」**です。生成AIなどが発達し、個人だけで思考が深まりがちな現代だからこそ、周囲に目を向け、他者と共に生きる為の媒体が必要だと考え、出会ったのがポン菓子でした。ポン菓子の最大の特徴である「ポーン！」という大きな爆発音。その音に惹かれて人が集まり、出来立てのポン菓子を分け合って食べる。そこには自然と会話が生まれ、無条件に人と人がつながる空間が生まれます。福祉施設を構えて待つのではなく、自ら街に出て交流の場を創り出す。そんな小さな関わり合いから、**自然な福祉のカタチを広めていきたい**と考えています。

～ 社名「セメント」に込めた由来 ～

社名である「セメント」には、3つの想いを込めています。1つ目は、地元・山陽小野田の発展を支えてきた基幹産業であり、幼少期から親しみのある言葉であること。2つ目は、受け継いだ「ほりうち商店」の歴史がセメント町から始まったこと。 そして3つ目は、セメント本来の役割である「ひっつける」という性質のように、自身が人と人、人と地域を深く結びつけられる存在になりたいという決意からです。

● 【守る・つなぐ・育む】伝統の継承から始まる地域共生へのステップ

私は将来、自身のポン菓子の製造だけではなく、地域の様々な店舗に1人ずつでも障害のある方が働ける環境を作りたいと考えています。また、受け入れに悩む店舗には工夫を提案、当事者に対してはサポートを行い、働く姿を支えられたらとも思います。このように**施設の中で完結せず、地域全体が繋がり、支え合うことで誰もが楽しく暮らせる街づくり**を目指していきます。事業承継からまだ2～3ヶ月。まずは長年愛されてきた「ほりうち商店」の伝統の味とブランドを誠実に守り抜くことに集中し、その確かな土台の上に新しい地域の未来を育んでいきたいです。

ー DX推進委員会 特別編 ー

DXマンガ、その反響は!? 会員企業の声を追え!



※今回のイラスト記事はMicrosoft Copilotで作成しています。

厚狭駅に山陽新幹線「さくら」が停車します！



厚狭駅については山陽新幹線「こだま」のみが停車していますが、10月1日～12月31日の**山口デスティネーションキャンペーン（※）**期間中、新大阪から鹿児島中央区間を運行する山陽新幹線「さくら783号」が厚狭駅に停車します。出張やご旅行などの際に、ぜひご利用ください！



※デスティネーションキャンペーン（ＤＣ）
地元自治体とＪＲグループが一体となって観光を盛り上げる国内最大級の大型観光キャンペーン。
山口県では９年ぶりの開催。

≪列　　車≫　さくら７８３号
≪運行ダイヤ≫　新大阪⇒鹿児島中央
≪運 航 日≫　厚狭駅停車　７本

10月 3日(土)、17日(土)、24日(土)
11月 7日(土)、14日(土)、28日(土)
12月 5日(土) (予定)

新大阪	新神戸	岡　山	福　山	広　島	**厚　狭**	小　倉
7：29 発	7：42 発	8：16 発	8：33 発	8：58 発	**9：33 着** **9：34 発**	9：47 発
博　多	新鳥栖	久留米	熊　本	川　内	鹿児島中央	
10：04 発	10：18 発	10：23 発	10：44 発	11：19 発	11：32 発	

さくら停車を記念し、ツアーや特典もご用意！

★ 熊本支援レノファ山口応援ツアー！【定員100名】
（参加者へレノファ20周年記念Tシャツ配布）
11/7（土）厚狭駅9:34 発→ 熊本駅10:44 発→ 熊本泊
11/8（日）13:00 ロアッソ熊本 VS レノファ山口 → 熊本駅 → 厚狭駅



★「さくら」利用の着地型ツアー！【定員80名】
10/24（土）お祝い夢花火等市内観光ツアー

★「さくら」の厚狭駅乗降者にスマイルチケット配布！
（1人につき2,000円分）※７便全て共通
配布場所 / 新幹線厚狭駅改札内
配布時間 / ９：１５～９：４５

※詳細はホームページをご確認ください。

公立大学法人 山陽小野田市立
山口東京理科大学
の研究を紹介します！

アンケートで
ご意見をお聞
かせください

研究・教員
紹介 BOOK
2026-2027



電力変換技術で挑む！脱炭素社会を支える電源システム

工学部電気工学科　教授　山田洋明

2026 年 4 月にスタートした新しい研究室です。脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーの活用やさらなる省エネが求められる中、当研究室では環境負荷を減らす次世代の「電源システム」を開発しています。

電気の形態（電圧や電流の大きさ・形）を自由自在にコントロールする「パワーエレクトロニクス技術」を活用し、電気の品質向上や効率的なエネルギー利用を目指した研究に取り組んでいます。

【主な研究事例】

・海と川の「塩分濃度差」を利用したクリーン発電の系統連系システム

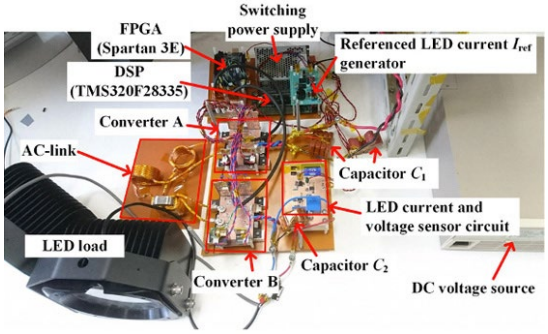
海水と河川水の塩分濃度差を利用したクリーンな次世代再生可能エネルギーを家庭などで利用するための電力系統側へ効率よく伝送するための系統連系システムの研究開発を他大学と共同で実施しています。

・再生可能エネルギーを無駄なく届ける「直流配電システム」の電力品質改善

太陽光発電などの再生可能エネルギーや蓄電池の電力をロスなく利用できる直流配電システムの電気の質を高め、安定的に利用するための電力品質補償装置です。

・漁業や舞台装置で活躍する「高出力 LED 照明用電源」

漁業や舞台装置などで使用される高出力 LED 照明のスムーズな調光やフラッシュ点灯を実現するための電源です（下記の写真：試作した実機）。



これまで、企業との共同研究などを複数件実施してきました。電源の開発や省エネ化などでお困りのことがございましたら、ぜひお気軽にお声がけください。

【研究室ウェブサイト】　http://pelab.rs.socu.ac.jp/

【キーワード】パワーエレクトロニクス、再生可能エネルギー、電力品質の改善、電源

問合せ先:山陽小野田市立山口東京理科大学 学術研究推進課 Tel:0836-88-4533

トレンド通信

「アートとの触れ合いを前面に出した温泉宿」

東北新幹線の那須塩原駅から車で30分ほどの山中に、那須七湯の一つ、板室温泉があります。ここで、現代アートの展示と宿泊を組み合わせたユニークな温泉旅館を運営している大黒屋の室井俊二会長にお話を聞きました。

１０００年以上の歴史を持つ湯治場として栄えてきた板室温泉ですが、高度成長期が過ぎると、全国各地の温泉郷と同様に、団体客中心から個人客中心へとビジネスモデルの大きな転換を迫られていました。大黒屋は約４７０年前に創業した老舗の旅館で、16代目に当たる室井さんの代になって、経営方針を大きく変えました。「保養とアート」をコンセプトに、現代アートの作品が旅館の庭や屋内のそこかしこに置かれ、独自の宿泊空間をつくり上げました。今でこそ、アートでまちおこしといった考え方は広く知られており、さまざまな地域に事例がありますが、室井さんは１９８０年代半ばから、アートを核に置いた旅館経営に取り組んできました。

具体的には、日本を代表する現代アートの作家である菅木志雄（すが・きしお）氏の創作活動を支援し、その作品を買い求めて旅館に展示・配置していきました。また、旅館の敷地の一角には、菅氏の作品を中心とした「倉庫美術館」を開設しました。世界に向けて日本の現代アートを発信する拠点を自前で那須の山中に一つ、つくり上げました。これにより、その分野に興味のある人にとって、そこはわざわざ足を運びたくなる場所となりました。室井さんによると、「アート作品を通じてお客さんの感性を刺激し、人里離れた環境と相まって、この旅館に滞在すること自体が特別な体験となってもらいたい」という狙いです。

先代から受け継いだ旅館を、アートを軸にモデルチェンジすることは、当初、金融機関をはじめ地元の自治体やそれまでの客にもなかなか理解されず、受け入れてもらえなかったそうです。もちろん、それまでの事業を築いた先代も反対でした。ただ、海外を巡った経験などから、この先は、強い独自性を持たないと生き残れないと考えた上で、アートで違いを生み出す戦略を進めたということです。

続けていくうちに、訪れた利用者にその価値が徐々に理解され、結果としてこの20年ほどはリピート率が７割に達するほど、しっかりとファンが根付いてきたとのことです。「駐車場には高級外車もあれば軽トラックも止まっています。富裕層であるか、そうでないかといったくくりでなく、アートを受け止める感性のある人が選んでくれている」と室井さんは言います。現在は経営を引き継いだ17代目が、予約や顧客の管理のＩＴ化などに取り組み、室井さんとは別の意味での経営改革に取り組んでいます。

渓流のそばにたたずむ自然豊かで風光明媚（ふうこうめいび）、歴史もある温泉宿。それだけだと日本全国に競合が数多く存在します。そんな中でコスパ勝負ではない、オンリーワンとして選ばれるには、リスクを取る方法論とそれを支える経営哲学が必要なのだと感じました。

地域経済アナリスト／コンサルタント
渡辺　和博



◇渡辺　和博／わたなべ・かずひろ

合同会社ヒナニモ代表。元日経ＢＰ総合研究所上席研究員。筑波大学大学院理工学研究科修士課程修了後、日本経済新聞社入社。ＩＴ分野、経営分野、コンシューマ分野の専門誌の編集を担当。日経ＢＰ総合研究所上席研究員として全国の自治体・商工会議所などでコンサルティング、講演を実施。消費者起点をテーマにヒット商品育成を支援。２０２５年４月から現職。著書に『地方発ヒットを生む　逆算発想のものづくり』（日経ＢＰ社）。ＮＨＫラジオ『マイ！あさ』マイ！Ｂｉｚコーナーでも地域の事業者の取り組みを定期的に紹介している。

「薬剤師の『マウス文化』に寄り添う、現場発の薬歴ＤＸ」

今回は、生成ＡＩで薬歴作成を効率化した医療ＩＴ業の事例です。薬歴は、薬の使い方など患者に説明した内容や体調、薬剤師の判断などを残す重要な記録です。調剤報酬の請求にも関わるため、省くことはできません。

茨城県つくば市にある株式会社ロジロジは、薬剤師が患者との対話に集中できる環境づくりを進めています。代表の山口洋介氏は以前、薬剤師として薬局の現場に立ち、服薬指導後も薬歴の作成に追われる日々を経験しました。

薬剤師は月に約24時間、勤務３日分に相当する時間を薬歴作成に費やしているといいます。山口氏も負担を感じていましたが、長年続く業務だけに、仕方のない仕事として受け入れていました。

転機は生成ＡＩの登場でした。処方情報と患者との会話を組み合わせれば、薬歴の下書きをつくれるのではないか。新しい技術に触れたことで、当たり前だった業務が「解決できる課題」に変わったのです。

同社が開発する薬歴入力支援システムでは、処方内容や前回の薬歴を基に、今回確認すべき事項をあらかじめ表示します。患者との対話を録音し、服薬指導後には、会話を整理した薬歴の下書きをＡＩが作成します。薬剤師はメモを取りながら話したり、記録を一から考えたりする負担が減り、患者に意識を向けやすくなります。これらの改善は作業時間の短縮だけでなく、患者と向き合う時間を取り戻すことも目的の一つです。

ただし、薬局で使われる電子薬歴のシステムはメーカーごとに仕様が異なり、新しいシステムとの連携は容易ではありません。全てを入れ替えれば費用がかかり、操作を覚え直す負担も生じます。そこで同社は、既存システムを残したまま、作成した薬歴を画面上の所定の欄へ自動で転記する仕組みを開発しました。

薬剤師経験を持つ山口氏は、実際の業務の流れを起点に開発を進めました。設計では、薬剤師がキーボードのショートカットよりもマウスを多用する「マウス文化」にも着目し、使い慣れた操作で新機能を使用でき、現場が無理なく受け入れられる形を目指しました。

この事例が表すのは、ＤＸでは新しい技術だけでなく、既存の設備や現場の習慣を尊重することが重要だという点です。全てを一度に変えるのではなく、負担の大きい部分から改善していく。働く人が自然に使える形にすることが、中小企業のＤＸを定着させる鍵になります。

（この事例は筆者取材時のものであり、現在では異なる場合があります）

PwCコンサルティング合同会社
PwC Intelligence
シニアマネージャー
大川　真史



◇大川　真史／おおかわ・まさし

大手国内シンクタンク、大手国産ソフトウエア会社などを経て現職。デジタル化、中堅・中小企業に関する情報発信に従事。これまで、デジタル化による新事業・サービス開発支援、中堅・中小企業のデジタル化に関する政策提言などを経験。経済産業省、経団連、経済同友会、日本商工会議所などでの講演やワークショップの企画運営の実績多数。ＩＴコーディネータ。



アクサの
一生保障の医療保険
スマート・ケア
with You

限定告知型終身医療保険(無解約払戻金型)

持病があっても、しっかりサポート!
変わらない保険料で、入院・手術を一生涯保障します。

- 80歳までお申込みいただけます
- 持病の悪化・再発も保障
- 充実の特約でさらに安心

※責任開始期前に、医師によりすすめられていた入院・手術・先進医療による療養については、給付金などはお支払いいたしません。

●お引受けには所定の条件があります。本商品をご検討の際には「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報・その他重要なお知らせ)」「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

アクサ生命は、商工会議所と協力し、会員事業所の各種ニーズ(弔慰金・見舞金制度、退職金制度、リスク対策や事業承継など)を共済制度／福祉制度でサポートしています。

アクサ生命保険株式会社　山口支社　下関営業所　小野田分室
〒756-0824　山口県山陽小野田市中央2-3-1　Aスクエア2F　TEL 0836-83-0696

■発行所　小野田商工会議所
■発行日　2026年10月1日
■所在地　山口県山陽小野田市中央二丁目3番1号(Aスクエア 2階)
■TEL　(0836) 84-4111
■印刷所　㈲秋本印刷